



# Cisco Connected Mobile Experiences クラウド

Cisco Connected Mobile Experiences (CMX) は、コネクション型 (TLS) トランSPORT経由で動作するネットワーク モビリティ サービス プロトコル (NMSP) を使用して、シスコ ワイヤレス 組み込みワイヤレスコントローラと通信します。このトランSPORTではセキュアな双方向接続が提供されます。組み込みワイヤレスコントローラと CMX の両方がオンプレミスで、それらの間に直接 IP 接続がある場合に便利です。

Cisco CMX クラウドは、オンプレミス CMX のクラウドによって提供されるバージョンです。Cisco CMX クラウドサービスにアクセスする場合、HTTPS がトランSPORTプロトコルとして使用されます。

- [Cisco CMX クラウドの設定 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco CMX クラウド構成の確認 \(2 ページ\)](#)

## Cisco CMX クラウドの設定

CMX クラウドを設定するには、次の手順に従います。

### 始める前に

- **DNS の設定** : NMSP クラウドサービスで使用される完全修飾ドメイン名を解決するには、ステップ 2 に示すように、`ip name-server server_address` コンフィギュレーション コマンドを使用して **DNS** を設定します。
- **サードパーティのルート CA のインポート** : コントローラは、接続確立時に CMX から送信される証明書に基づいてピアとホストを確認します。ただし、ルート CA はコントローラに事前にインストールされていません。ステップ 3 に示すように、`crypto pki trustpool import url <url>` コンフィギュレーション コマンドを使用して、シスコが信頼するルート CA のセットを crypto PKI の trustpool にインポートする必要があります。
- この設定の完了に必要な **server url** および **server token** パラメータの構成を有効にするには、Cisco Spaces への登録が成功している必要があります。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>ip name-server namesvr-ip-addr</b> 例： Device(config)#ip name-server 10.10.10.205	NMSP クラウドサービスで使用される FQDN 名を解決するようにコントローラの DNS を設定します。
ステップ 3	<b>crypto pki trustpool import url url</b> 例： Device(config)#crypto pki trustpool import url http://www.cisco.com/security/pki/trs/ios.p7b	サードパーティのルート CA をインポートします。コントローラは、インポートされた証明書を使用してピアを確認します。
ステップ 4	<b>[no] nmsp cloud-services server url url</b> 例： Device(config)# nmsp cloud-services server url https://cisco.com	クラウドサービスに使用する URL を設定します。コンフィギュレーションからサーバー URL を削除するには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。
ステップ 5	<b>[no] nmsp cloud-services server token token</b> 例： Device(config)# nmsp cloud-services server token test	NMSP クラウドサービスの認証トークンを設定します。コンフィギュレーションからサーバー トークンを削除するには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。
ステップ 6	<b>[no] nmsp cloud-services http-proxy proxy-server port</b> 例： Device(config)# nmsp cloud-services http-proxy 10.0.0.1 10	(任意) NMSP クラウドサービスの HTTP プロキシの詳細を設定します。HTTP プロキシの使用を無効にするには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。
ステップ 7	<b>[no] nmsp cloud-services enable</b> 例： Device(config)# nmsp cloud-services enable	NMSP クラウドサービスを有効にします。この機能を無効にするには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。

## Cisco CMX クラウド構成の確認

CMX クラウドの構成を確認するには、次のコマンドを使用します。

アクティブな NMSP 接続のステータスを表示するには、次のコマンドを使用します。

Device# **show nmsp status**

MSE IP Address	Tx Echo Resp	Rx Echo Req	Tx Data	Rx Data	Transport
9.9.71.78	0	0	1	1	TLS
64.103.36.133	0	0	1230	2391	HTTPs

NMSP クラウドサービスのステータスを表示するには、次のコマンドを使用します。

Device# **show nmsp cloud-services summary**

CMX Cloud-Services Status

```

Server:                https://yenth8.cmxcisco.com
IP Address:            64.103.36.133
Cmx Service:           Enabled
Connectivity:          https: UP
Service Status:        Active
Last Request Status:   HTTP/1.1 200 OK
Heartbeat Status:      OK
  
```

NMSP クラウドサービスの統計情報を表示するには、次のコマンドを使用します。

Device# **show nmsp cloud-services statistics**

CMX Cloud-Services Statistics

```

Tx DataFrames:         3213
Rx DataFrames:         1606
Tx HeartBeat Req:      31785
Heartbeat Timeout:     0
Rx Subscr Req:         2868
Tx DataBytes:          10069
Rx DataBytes:          37752
Tx HeartBeat Fail:     2
Tx Data Fail:          0
Tx Conn Fail:          0
  
```

モビリティ サービスのサマリーを表示するには、次のコマンドを使用します。

Device# **show nmsp subscription summary**

Mobility Services Subscribed:

Index Server IP Services

```

-----
1 209.165.200.225 RSSI, Info, Statistics, AP Monitor, AP Info
2 209.165.200.225 RSSI, Statistics, AP Info
  
```



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。